

## 翻訳 性教育へのアプローチ（その2）

— C. A. Darling, D. Cassidy, L. Powell 著

『*Family Life Education: Working with Families  
across the Lifespan*』第9章の翻訳—

倉 元 綾 子

C. A. Darling, D. Cassidy, and L. Powell;

*Family Life Education: Working with*

*Families across the Lifespan*; Chapter 9;

Approaches to Sexuality Education;

Part 2 (Japanese Translation)

Ayako Kuramoto

### はしがき

本翻訳は、故レイン・パウエル博士（Lane Powell, テキサス工科大学・元教授）、キャロル・A・ダーリン博士（Carol A. Darling, フロリダ州立大学名誉教授）とドーン・キャシディ氏（Dawn Cassidy, NCFR教育ディレクター）によって執筆された *Family Life Education: Working with Families across the Lifespan*（第3版）（Waveland Press, 2014）の第9章 *Approaches to Sexuality Education* の後半部分の翻訳である。著者3人はいずれも家族生活教育に長い間、貢献してきた。第9章は日本における性教育の進展の違いを考慮し、同書の翻訳『家族生活教育：人の一生と家族』（第3版）では割愛した。しかしながら、日本における性教育の今後に示唆するものが多いこと、および長く性教育に関する研究に携わってきた著者のひとりキャロル・A・ダーリン博士が深く関与した章であることから、本号においては、その後半部分（第6節以降）

を翻訳した。

なお、前号で予告した解説は紙幅の都合により、今回は割愛せざるをえなかった。次の機会を待ちたい。また、翻訳中の解釈や用語等に不十分な点があるかもしれない。ご教示いただきたい。

本章後半の構成は、次のとおりである。

---

## 第9章 性教育へのアプローチ

### 第6節 性教育者

セクシュアリティを教えるための教育

自分自身を知ること

個人的特性

### 第7節 人間の性を教えるという課題

### 第8節 人間の性を教える喜び

要約

討論課題, 活動, ウェブ資源, 参考文献, 索引

---

## 第9章 性教育へのアプローチ

### 第6節 性教育者

性教育者になることは、エキサイティングで、面白かったり、怖かったり、挑戦的であるように聞こえるかもしれない。残念ながら、性教育者を教育するための学術プログラムはほとんどない。私たちは適切な知識と支援を得るための提案と自分自身を知ることの重要性を提案する。

#### セクシュアリティを教えるための教育

多くの性教育者は性教育を教える専門的教育を欠いているが、この領域の教師のための効果的な準備は重要である (Cohen, Byers, Sears, & Weaver, 2004;

Walters & Hayes, 2007)。性教育コースを教えることは論争になる可能性がある。人々は攻撃を受けやすいかも知れず、怖がって、しようとしない。公立学校では性教育プログラムの数が増えているが、教育者にはセクシュアリティに関する教育の内容と方法に関する準備が不足しているだけでなく、個人的によく知らないし心地よくない教材を教えることを強いらられるものもあるかもしれない (Goldfarb, 2003)。この教育の不足は、公立学校と大学の両方の教育者に存在する。大学レベルのほとんどの性教育者は学位を取得しているが、人間のセクシュアリティの領域に関する専門的なトレーニングは受けていない。セクシュアリティのコースを受講したことがある人もいるが、自分の学科では提供されなかったために受講していない人もいる。実際、セクシュアリティの学位を取得できる大学プログラムはほとんどない。心理学、社会学、社会福祉学、医学、保健学、家族科学などの大学の学科には、単一のセクシュアリティのコースがある。しかし、それらはその分野の観点に基づいていて、かなり異なっている可能性がある。これは、教育戦略、研究プロジェクトの共有、他分野からの文献の閲覧に関して、キャンパス内またはその専門組織内で分野間の相互交流がほとんどないことを意味する。

セクシュアリティを教えることは、生態学的文脈からのものであり、根拠に基づき、ニーズによって動かされ、評価されるべきである。教師の準備は、大学プログラムでは最小限であるため、現職研修、応用できる研究、教室でうまく機能することがわかっている明確に文書化された教育活動を教師に対して、提供することは重要である。教師は、2時間の現職研修でのワークショップでさえ、人間のセクシュアリティについて教えるのに役立ついくつかの必要なツールを提供してくれたと報告している (Buston, Wight, Hart, & Scott, 2002)。これらのコースまたはプログラムが利用可能になれば、教師は互いから学び、他の性教育者と親交を深め、この主題を教える自信とスキルを身につけることができる。その他には、他の性教育者とネットワークをつくり、よく読み、情報や教育に関するアイデアを共有する性教育者のEメール討論リストに加わることを提案できる (Taverner, 2006)。幼児期 (Brick et al, 1989) から思春期 (Brick & Taverner, 2001; Taverner & Montford, 2005)、中年期・

高齢期 (Brick & Lunquist, 2003) まで、さまざまなレベルの相手に対する教材に親しむことも役に立つ。また、高リスクの若者に対する性教育 (Brown & Taverner, 2001) から、成人と10代の関係における権力と同意 (Montfort & Brick, 1999)、性教育において教えるのが難しいトピック (SIECUS, 1998) まで、幅広いトピックがある。これらの教材の多くは、「アメリカ合衆国性情報・教育協議会 (SIECUS)」と「家庭生活教育センター：グレーター・ノーザン・ニュージャージーの親計画 (Center for Family Life Education: Planned Parenthood of Greater Northern New Jersey)」から入手することができる。教室における質の高い性教育のためには、質の高い準備が必要である。

認証家庭生活教育者 (Certified Family Life Educator, CFLE) プログラムでは、学生が「家族関係」や「人間発達」などのような授業の一部から性やセクシュアリティについての知識を習得するのは容易ではない。したがって、CFLE プログラムには、10の内容領域の1つとして「人間のセクシュアリティ」が含まれている。この内容領域は、一般に特に人間のセクシュアリティに関するコースで扱われる。性的機能・家族計画・健康などの生物学的要素、健康で倫理的な性的関係・性的親密さのダイナミクス・危険因子などの人間のセクシュアリティの心理社会的側面を含むCFLEになるのに必要な、この内容領域の広範なトピックがあり、全て価値を尊重する立場から取り組まれる (付録AとBの性的内容参照)。「米国性教育者・カウンセラー・セラピスト協会 (AASECT)」もまた、性教育者を認定するプログラムを設立した ([www.aasect.org/certification.asp](http://www.aasect.org/certification.asp) 参照)。性教育者になったり、セクシュアリティについて教えるための知識・スキル・能力を向上させたりするために、支援が必要であることを認識した場合、さまざまな組織やコースが、あなたがこの役割をより快適に感じるのを支援することができる。

### 自分自身を知ること

親は、子どもに対する主要な性教育者であるべきであるが、この複雑な仕事をすべての親が処理するのを期待することは、今日の社会では非現実的である。彼らはセクシュアリティについての議論に戸惑うことが多く、知らないことが

たくさんある。したがって、彼らは他の人々、すなわち学校に、支援・資源・専門知識を求める。また、親のなかには子どもと有意義な話し合いをすることができるように、同じセクシュアリティのコースを同時に受けるものもある。親と教師は性的存在である一方、両者ともに、自分自身の子どもや他の人々の子どもたちに対する性教育者になる前に、自分自身と自分自身のセクシュアリティについての感情を理解することが重要である。教師は、優れた人間のセクシュアリティ・プログラムの重要な要素である。コースを慎重に設計し、計画を実行するかに関係なく、恐怖感を持ち、不安で、暫定的で、恥ずかしいと感じている、準備をしていない教師は、努力全体を台無しにする。そうではなく、性教育者は、セクシュアリティについて他の人々と快適に交流し、性的責任に専心する必要がある (Bruess & Greenberg, 2009)。

### 個人的特性

人間のセクシュアリティを教える人たちは、しばしば似たような特徴を持っている。彼らはオープンで、相互作用的で、感情の領域で教えることができ、学生に興味を持つ傾向がある (Bruess & Greenberg, 2009; Timmerman, 2008)。性教育者は、異なるグループに関連した個人的な経験をしたことはないかもしれないが、既婚者、シングル、ゲイ・レズビアン、障害者、多様な文化に関する研究や文献を学ぶことによって、それらの間でのセクシュアリティについてオープンであり、学ぼうとする限り、効果的である (Wilkenfeld & Ballan, 2011)。特に学生の背景が他の国に結びついている場合、彼らの文化的文脈を理解することは非常に重要である。あなたが学生の環境的文脈を知らないならば、同じような背景を持つ他の人々について読んだり話し合ったりして、彼らの文化に親しみなさい。ジェンダー、同性愛、ボディイメージ、宗教、避妊、性的健康についての学生の考え方は、彼らの文化的社会化に関連している可能性がある。したがって、性教育者の目標は、教えている文化の社会的背景を示しながら、他の文化的観点を認識し、受け入れることである。

性教育者は自分の女性らしさと男らしさを心地よく感じる必要がある。私たち全員が女性性と男性性の両方の資質を持っているので、それらを認識し、社

会的ステレオタイプや誤解を持っていないことが不可欠である。肯定的なボディイメージを持つことも、自分の外見を受容できることとともに重要である。身体発達について効果的に議論するためには、自分自身について肯定的でなければならない。ユーモアのセンスを持っていることも期待されている。時には、ユーモラスな状況が教育現場で起こるので、これらの状況に対する明るくて遊び心のある反応は、あなたが現実の世界に関係できることを学生に知らせる。ユーモアは、学生の興味を高め、授業の話題について議論するのをより容易にし、時には何の費用もかけずに笑いをもたらすというセクシュアリティの肯定的なイメージを提供する (Bruess & Greenberg, 2009; Timmerman, 2009)。

グループや個人を扱うときには、優れたコミュニケーション・スキルを持っていることが重要な資質である。一部の教師は科学用語の使用を求めるが、それらは学生にとって扱いにくく、ぎこちなくなるかもしれないし、授業での学生のコメントを妨げることがある。その専門用語が社会的に受容され理解できるものである限り、授業を進めることができる。次に、受容されていない用語を使う場合、学生を困らせることなく、正しい専門用語を特定するのが教師の責任である (Bruess & Greenberg, 2009)。時には、また、学生が明らかに不正確な誤った認識を述べるかもしれない。たとえば、ある学生が「初めて性交をしたときには、妊娠することはない」と言ったことがある。人前できっぱりと「間違っている」と学生に言うのではなく、これは多くの人が真実だと思うことだが、実際には初めて性交をしたときに妊娠する可能性はある、と言うことができる。あなたは学生に恥をかかせたくないと思うかもしれないが、神話を正すことは重要である。

性教育者は、関心のある課題について話をしようとしてくる学生とコミュニケーションをとるときには、くつろいでいるべきである。学生が困っているとき、性教育者は、HIV 陽性だと診断されたばかりの母親の苦痛、乳がんと診断される不安、性的パートナーによる暴力のトラウマなど、気持ちを共有できる人であるかもしれない。彼らは、繊細なトピックに関して接近しやすい相手として性教育者を認識し、自分たちの心配を共有したいと思うかもしれない。

このような状況では、学生と時間を過ごし、耳を傾け、必要に応じて支援を求めるよう、学生に言う必要がある。配布するために、アクセス可能なセラピストのリストと関連する連絡先情報を用意しておきなさい。性教育者にはセラピストもいるかもしれないが、学生に対して二重の役割を果たすのは非倫理的である。

## 第7節 人間の性を教えるという課題

セクシュアリティについて教えることは、学校、州、連邦の義務や勧告の間を網渡りするようなものである。一方、性的に活発であるかどうかにかかわらず、学生のニーズを満たすことも同様である。セックスやセクシュアリティはメディアやキャンパスの環境のほとんどいたるところにあるが、セクシュアリティについての誠実で知識豊富な会話はあまりない。課題の1つは「学問の自由」である。公立大学や大学には学問の自由がある場合が多いのに対し、私立財団や授業料によって賄われている私立大学のなかには、コースで扱われるトピックに懸念を抱く大学があるかもしれない。公立学校では、選挙で選ばれた学校職員がセクシュアリティについて教えることに責任を負わされ、カリキュラムがより統制されているかもしれない。高学年以上の学生に教えるための1つの提案は、この人間のセクシュアリティのコースは、複数の意見を聞く多元的な設定で行われることを彼らに知らせることである。その結果、学生は課題の全ての側面についてコメントすることができる。しかし、いかなる場合にも学生は尊重されなければならない。課題は、開かれた対話を続け、橋を架け、管理者や他の人々に情報を提供しつづけることである。

教科書や読み物の選択ももう1つの課題である。教育の場によっては、特定の内容、図表、写真の使用が問題になる可能性がある。自分の本を親に持って帰らないと言う学生もいれば、セクシュアリティの本が寮の部屋やロッカーから盗まれたと言う学生もいる。他には、学生が読む前に、重要な他の人々や配偶者が学生の教科書を見たり、実際に読んでいたのは今回が初めてだったと伝える人もいる。現在の環境では、教科書や教科書の一部を学生に読ませるこ

とは簡単である。いくつかの出版社は、学生の教育ニーズに最も適合するように読み物を作成するために、彼らが刊行した教科書の章を教師が選ぶことに前向きである。

セクシュアリティについて教えることは学生の感情領域のカジ取りをしなければならないことを意味する。学生のなかには、性的暴力、10代の妊娠、セクシュアリティについての人種差別的なコメントを経験したものや、非伝統的な性的指向を持っているものもある。教師が学生を理解することは重要なので、「インサイト」と呼ばれる活動で授業を開始することができる。学生には識別マークが付いていない1枚の紙が渡され、セクシュアリティの話題に関して知っておくべきこと、および／または授業中に特に答えてほしい質問があれば、あなたに知らせるように指示される。これらの質問に答えるかどうかにかかわらず、課題や質問を持っているか、持っていないかを他の人が特定できないように、紙に何かを書かなければならない。人間のセクシュアリティに関する学部の授業から受け取った応答のなかには、次のような多種多様な懸念が示された。

- 私はデートレイブをされ、妊娠中絶をしなければならなかった。私はこのトピックに関して、やや敏感である。
- 私はだれかと付き合っているわけではないが、よそから来た人とセックスをするので、ときどき乱交をしているような気がする。私も自分のセクシュアリティに疑問を感じている。
- 私が6歳の時、大工や庭師からいたずらをされた。
- 私は、コンドームを使ったとしても性感染症になることを人々が知っておくことが重要だと思う。ほとんどの性教育の授業では、コンドームを使うと、完全に安全だと暗示しているが、それは全く真実ではない。
- 私の家ではセックスについてはほとんど議論しなかった。私は性について家族ともっとオープンでありたい。
- 私は性的興奮についてもっと知りたい。
- 妊娠することは性生活にどんな影響を与えるか。

- 私はヘルペスにかかっているが、発症を予防できる治療法があるかどうか知りたい。
- 私のパートナーは、性行为中にオーガズムに達したことはない。それを変えるにはどうすればいいか。彼女は性交を楽しんでいるが、もっと楽しんでほしいと思う。

このような一連の回答は、教師に学生の背景についての匿名の「洞察」を与えたり、彼らのニーズや懸念事項のいくつかを特定させたりする。これらのコメントに由来するトピックの一部は、授業に割り当てられたレベルと期間によってコースの内容に統合できるのに対して、他のトピックは、カウンセラー、セラピスト、医師への照会など、他の情報源からの専門的支援を必要とするかもしれない。

セクシュアリティについて教えるとき、あなたは他とかかわりを持たないで教えるだろう。このコースを教えるのにふさわしい資格を持つ代わりになる人は通常いないので、授業をしないことは難しい。教師が、講演者が語ることがわからなかったり、発表内容がコースに簡単に統合できなかったり、無神経な発言をしたりした場合、問題になる可能性がある。したがって、講演者の慎重な計画と準備は不可欠である。あなたはいつも用心しているので、人間のセクシュアリティのコースの教育にはかなり多くのエネルギーが必要である。また、学生に、性的課題や行動に関連する個人的な考えや感情を明らかにするように求めないなど、課題に繊細である必要がある。学生は授業でこれらの意見を自発的に言うかもしれないが、特定のトピックについての共有を選択しない学生もいる。さらに、特に学生の名前が書かれた一連の書類を紛失しないように注意なさい。事実、教師のなかには、学生に予め与えた番号でその論文を識別するものもいる。

人々はたいてい、性教育者についての誤った見方をたくさん持っている。性教育者は他の人よりも性的に熟達しているとか、他の人々よりも性的機能不全が多いと考えるかもしれない。加えて、性教育者は社会的なできごとでの短い相互作用の間に、いくつかのよく選ばれた言葉や提案を使って、性的課題を診

断し解決することができるだろうと考えている。ジェンダーや年齢もまた、性教育者に対する他の人々の認識に影響を与える可能性がある。年配の男性は倒錯していると認識されるかもしれない。一方、若い男性は性的関心のレベルが高いと見られるかもしれない。女子学生のなかには、過去に被害経験があり、男性の権威者、特にセクシュアリティについて教える人々の存在下では、被害に遭いやすいと感じる場合、男性教師と話すことは難しいと考えるものもあるかもしれない。対照的に、若い女性〔が教える場合に〕は、性について話ができ、性的自由と実験に興味を持っていると推定されるかもしれない。年配で既婚の、肉体的にあまり魅力的でない性教育者は問題が少ないように思われる。さらに、子どもを持つ既婚の教育者は、より伝統的で、より脅威が少ないように思われる。たとえば、ルース博士は年配で、母親であり、率直である。それらは彼女の年齢の女性に認められた特権である。男性と女性の性教育者の両方も、ジェンダーを越えて教えることは、それが資金供給されれば、素晴らしいだろう。一般的に、性教育者は態度・服装・発言に、反論の余地がないように、絶えず努力している。学生は、セクシュアリティの授業で語られたり、行われたりしたことを非常に簡単に共有する。なかには、聞き手によって誤解され、他の人々に噂として伝えられることもある。さらに、ある学生が強い意見を持っているかもしれない特定の行動を、教師が支持または非難しないとき、動揺する学生もいるかもしれない。

## 第8節 人間の性を教える喜び

人間のセクシュアリティについて教えることの喜びの1つは、非常に多くのさまざまな分野と生活の側面に関連する信じられないほど広い範囲のトピックがあることである。現代生活では、セクシュアリティの分野に関係する新しいことが常に起きている。ほぼ毎日のように、授業に付け加えることのできるメディアの課題や現在のできごとが起こるので、創造性という要素が常に存在している。新しいアイデアが活力を吹き込んでいるので、セクシュアリティについての教育に退屈することはない。セクシュアリティについて教えている研究

仲間のあいだにも友情がある。これは領域を超えて起こり得るし、学際的な興奮と共有を促進する。大きな喜びは他の人々を支援する機会があることである。学生にはずっと考えてきた性的課題について話すための免許が与えられる一方、学生は性教育者が知っていることを発見して幸せになる。他の研究仲間と共有されるとき、これは人生を変える状況にかかわる機会を提供する。

- 顔見知りレイプによって無気力になった被害者は、心的外傷後ストレス障害 (PTSD) を持っていた。そこで、彼女はセクシュアリティについて多くを学んだ。それは、彼女が自分の状況を理解し、支援を求めるのに役に立った。
- 一部の学生の文化的背景のなかでは、セクシュアリティは議論されていなかったもので、ある若い女性は性的快樂についてもっと情報を得るために授業のあとで教師のところにやって来た。
- 「若い女性はなぜ避妊しないのか」についての講義のあと、ある女性が産婦人科を予約したばかりだと教師に知らせた。
- 乳房検査やささまざまな健康診断についての教育が、健康障害を予防する結果になることはよくある。
- 精巣腫瘍に関する討論の結果、ある母親が息子に自己検診について話した。彼は小結節を見つけ、睾丸の1つを取り除く必要があったが、それは彼の命を救った。

セクシュアリティは「人間発達」や「家族関係」の重要な分野なので、それを無視したり、この領域の教育に「いいえ」と言ったりしないでほしい。セクシュアリティについての教育は難しいこともあるが、この挑戦を楽しむ人はたくさんいる。キャサリン・グラハム (Katherine Graham) のことばを借りれば、「自分のしていることを愛し、『どうしたらもっと楽しいことができるか』が重要だと感じること」である。

## 要約

---

性教育は、知識の獲得、関係の強化、若い人々のあいだの未熟で保護されておらず望ましくない性的関与の防止などのさまざまな理由から、若者、親、成人から切望されている。情報と教育のために多くの資源が利用できるが、困っている人に対してそれらを届けることは必ずしも容易ではない。学校での性教育プログラムにはさまざまなアプローチがある一方、それらの有効性もさまざまである。「セクシュアリティ・モデル」は、性教育コースの内容を整理するのに使用できる。潜在的なトピックには、時間をかけた発達の統合、認知的・心理的・生理学的プロセス、ジェンダー、文化的影響が含まれる。安全な環境づくり、価値の明確化、拒否するスキルにかかわるさまざまな教育戦略が取り入れられる。学術の設定においては、他の領域が持っていないいくつかの課題があって、性教育者になるために利用できる教育が最小限である一方、信じられないほどの喜びや、特に他の人々の生活に大きな影響を及ぼすことができる教育内容もまた存在する。

## 討論課題

---

1. 性教育は、なぜ、ずっと論争が続いている問題か。学生・教師・親・管理者は、性教育を促進するために何ができるか。
2. 家族生活教育者は、どうしたらコミュニティにおける性教育に関して「非学校」プログラムや文化的に多様なプログラムを促進できるか。
3. さまざまな年代（幼児、10代、思春期の若者、ヤングアダルト、成人、高齢者）で、セクシュアリティに関して、何が教えられるべきか。
4. どうしたら、親は自分の子どもに対するセクシュアリティ教育に、より多くかかわるようになることができるか。
5. 公立学校にいたとき、あなたはセクシュアリティに関して何を学んだか。もしあれば、どんな変化が欲しかったか。
6. セックスとセクシュアリティに関する正確で肯定的なメッセージを載せ

ている10代向けのウェブサイトの例は何か。

## 活動

---

1. セクシュアリティ年表 (Box 9.3) の特定のできごとや期間を用いて、学生にこれらの歴史的変化の詳細を調べさせ、授業で議論させなさい。その変化はどのように、あるいはなぜ、性行動に影響を与えたか。
2. 愛についての引用を見つけ、それらが言っていること、それが今日の文化の一部であるかどうかを分析しなさい。
3. 学生に、名前がわかっているか、わかっている情報源、(もしあれば) 視覚的表現、その主張に反論するか、論証するためにトピックについての研究を調べさせて、批評のために人気のある報道記事を見つけさせなさい。
4. 『国際セクシュアリティ百科事典 (*International Encyclopedia of Sexuality*)』(Francoeur & Noonan, 2004b) のさまざまな章を調べさせ、他国における性行動や相互作用の文化的役割を調べさせなさい。

## ウェブ資源

---

### 「若者の擁護者 (Advocates for Youth)」

[www.advocatesforyouth.org](http://www.advocatesforyouth.org)

「若者の擁護者」は、若者が性と生殖の健康について、情報に基づいた責任ある決定を行うことを支援する取り組みを推進している。「若者の擁護者」は、若者の性の健康に対する、より肯定的で現実的なアプローチを大胆に擁護することによって、この領域に最も貢献できると信じている。

**「米国性教育者・カウンセラー・セラピスト協会 (American Association of Sexuality Educators, Counselors and Therapists, AASECT)」** [www.aasect.org](http://www.aasect.org)

AASECTは非営利の学際的専門組織である。AASECTのメンバーには、性教育者、カウンセラー、セラピストのほか、医師、看護師、社会福祉士、心理学者、医療専門家、聖職者、弁護士、社会学者、結婚・家族カウンセラー・セラピスト、家族計画専門家、研究者、関連する専門分野の学生が含まれる。これらの人々は、人間のセクシュアリティと健康な性行動についての理解の促進に対する関心を共有している。

**「米国学校健康協会 (American School Health Association, ASHA)」** [www.ashaweb.org](http://www.ashaweb.org)

ASHAは学校保健専門家の主要な会員組織である。これは、最適な栄養、体力、情緒的なウェルビーイング、安全で清潔な環境など、学生がいつでも学べる必要があるすべての健康要因に関係している。この幅広いトピックは、ASHAを保健機関や教育機関のなかでユニークな存在にしており、ASHAのメンバーやパートナーの協働の場になっている。

**「米国疾病対策センター (Centers for Disease Control and Prevention, CDC)」** [www.cdc.gov](http://www.cdc.gov)

CDCは連邦政府機関であり、健康増進、疾病・傷害・障害予防、新たな健康上の脅威への備えを通じて、人々やコミュニティが自分たちの健康を守るのに必要な専門知識、情報、ツールを作成するために協働している。HIV／エイズ、資源、予防、利用可能な治療など、性感染症 (STIs) に関する情報へのリンクを提供している。

**「ガットマッハー研究所 (Guttmacher Institute)」**

[www.guttmacher.org](http://www.guttmacher.org)

「ガットマッハー研究所」は、新しいアイデアを生み出し、正しい知識に基づく公開討論を奨励し、健全な政策とプログラム開発を促進するように設計さ

れた研究・政策分析・公教育という相互に関連するプログラムを通じて、性と生殖の健康と権利を推進し続けている。この研究所の包括的な目標は、世界中のすべての人々が最高水準の性と生殖に関する健康を確保することである。

### 「家族計画 (Planned Parenthood)」

[www.plannedparenthood.org](http://www.plannedparenthood.org)

「家族計画」は、個人の収入、婚姻の有無、人種、民族、性的指向、年齢、出身国、居住地にかかわらず、世界中の個人が自らの生殖能力を管理する基本的権利を持つと信じている。彼らは、組織のあらゆる側面における多様性の尊重と価値観が、そのウェルビーイングにとって不可欠であると信じている。彼らは、生殖に関する自己決定は自発的でなければならない、個人のプライバシーの権利を保護しなければならないと考えている。さらに彼らは、そのような自己決定が「生活の質」の向上と強い家族関係に寄与すると信じている。

### 「アメリカ合衆国性情報・教育協議会 (Sexuality Information and Education Council of the United States, SIECUS)」[www.siecus.org](http://www.siecus.org)

SIECUS は、すべての人が、自分のセクシュアリティに関する情報や教育に確実にアクセスできるようにする闘いのリーダーである。SIECUS は、教育者・擁護者・親が、公共政策を支持するのを支援し、質の高い教育を提供し、若者が性的に健康になるのを支援するために、無数の資源を提供している。

### 「科学的セクシュアリティ研究学会 (Society for the Scientific Study of Sexuality, SSSS)」[www.sexscience.org](http://www.sexscience.org)

SSSS は、セクシュアリティに関する知識の向上に取り組んでいる。その知識を得るために、学会は、研究の自由、研究支援、共同研究者の学際的ネットワークを必要としている。学会は、質の高い研究成果と、教育・臨床・その他の設定における性的知識の応用の、両方の重要性を信じている。また、学会は、専門家、政策立案者、一般市民に対する、セクシュアリティについての正確な情報の伝達も不可欠だと考えている。

## 参考文献

- Advocates for Youth. (2001). Sexuality education programs: Definitions and point-by-point comparisons. *Transitions*, 12(3), 4. Retrieved from [www.advocatesforyouth.org/storage/advfy/documents/transitions1203.pdf](http://www.advocatesforyouth.org/storage/advfy/documents/transitions1203.pdf)
- American Association of University Women (AAUW). (2011). *Crossing the line: Sexual harassment at school*. Washington DC: Author.
- Averting HIV and Aids (AVERT). (n.d.). Abstinence and sex education. Retrieved from [www.avert.org/abstinence.htm](http://www.avert.org/abstinence.htm)
- Berman, L. (n.d.). The brain is the biggest sex organ. Retrieved from [www.drlauraberman.com/sexual-health/sex-and-brain/brain-biggest-sex-organ#/slide-1](http://www.drlauraberman.com/sexual-health/sex-and-brain/brain-biggest-sex-organ#/slide-1)
- Brick, P., & Lundquist, J. (2003). *New expectations: Sexuality education for mid and later life*. New York: SIECUS.
- Brick, P., & Taverner, B. (2001). *Positive images: Teaching abstinence, contraception, and sexual health*. Morristown, NJ: Planned Parenthood of Greater Northern New Jersey, Inc.
- Brick, P., Davis, N., Fischel, M., Lupo, T., MacVicar, A., & Marshall, J. (1989). *Bodies, birth, and babies: Sexuality education in early childhood programs*. Hackensack, NJ: Planned Parenthood of Bergen County.
- Brown, S., & Taverner, B. (2001). *Streetwise to sex-wise: Sexuality education for high-risk youth*. Morristown, NJ: Planned Parenthood of Greater Northern New Jersey, Inc.
- Bruess, C., & Greenberg, J. (2009). *Sexuality education: Theory and practice*. Sudbury, MA: Jones and Bartlett Publishers.
- Buston, K., Wight, D., Hart, G., & Scott, S. (2002). Implementation of a teacher-delivered sex education programme: Obstacles and facilitating factors. *Health Education Research*, 17, 59-72.
- Chibucos, T., Leite, R., & Weiss, D. (2005). *Readings in family theory*. Thousand Oaks, CA: Sage
- Cohen, J., Byers, E., Sears, H., & Weaver, A. (2004). Sexual health education: Attitudes, knowledge and comfort of teachers in New Brunswick Schools. *The Canadian Journal of Human Sexuality*, 13, 1-15.
- Collins, C., Alagiri, P., & Summers, T. (2002). *Abstinence only vs comprehensive sex education: What are the arguments? What is the evidence?* Policy monograph. San Francisco: AIDS Research Institute. Retrieved from [ari.ucsf.edu/science/reports/abstinence.pdf](http://ari.ucsf.edu/science/reports/abstinence.pdf)
- Darling, C. (1987). Family life education. In M. Sussman & S. Steinmetz (Eds.), *Handbook of marriage and the family* (pp. 815-833). New York: Plenum Press.
- Darling, C. A., & Howard, S. (2009). Human sexuality. In D. Bredehoft & M. Wakheski (Eds.), *Family life education: Integrating theory and practice* (2nd ed., pp. 141-151). Minneapolis, MN: National Council on Family Relations.
- Delamater, J., & Hyde, J. (1998). Essentialism vs. social constructionism in the study of

- human sexuality. *Journal of Sex Research*, 49, 69-77.
- Fisher, H. (2004). *Why we love: The nature and chemistry of romantic love*. New York: Henry Holt and Company.
- Fisher, T. (2012). What sexual scientists know about gender differences and similarities in sexuality. Whitehall, PA: Society of Scientific Study of Sexuality. Retrieved from [www.sexscience.org/PDFs/Gender%20Differences%20and%20Similarities%20in%20Sexuality%20Final.pdf](http://www.sexscience.org/PDFs/Gender%20Differences%20and%20Similarities%20in%20Sexuality%20Final.pdf)
- Francoeur, R., & Noonan, R. (2004a). Global trends: Some final impressions. In R. Francoeur & R. Noonan (Eds.), *The continuum complete international encyclopedia of sexuality* (pp. 1373-1375). London: Continuum International Publishing Group.
- Francoeur, R., & Noonan, R. (Eds.). (2004b). *The continuum complete international encyclopedia of sexuality*. London: Continuum International Publishing Group.
- Gagnon, J. (1990). The explicit and implicit use of the scripting perspective in sex research. *Annual Review of Sexual Research*, 1, 1-44.
- Gagnon, J., & Simon, W. (1973). *Sexual conduct: The social origins of human sexuality*. Chicago: Aldine.
- Gibson, S. K. (2004). Social learning (cognitive) theory and implications for human resource development. *Advances in Developing Human Resources*, 6, 193-210.
- Goldfarb, E. (2003). What teachers want, need, and deserve. *SIECUS Report*, 31(6), 18-19.
- Guttmacher Institute. (2013). State policies in brief: Sex and HIV education. New York: Author. Retrieved from [www.guttmacher.org/statecenter/spibs/spib\\_SE.pdf](http://www.guttmacher.org/statecenter/spibs/spib_SE.pdf)
- Kenny, L., & Sternberg, J. (2003). Abstinence-only-education in the courts. *SIECUS Report*, 31(6), 26-29.
- Kirby, D. (2007). *Emerging answers: Research findings on programs to reduce teen pregnancy and sexually transmitted diseases*. Washington, DC: National Campaign to Prevent Teen and Unplanned Pregnancy. Retrieved from <http://www.urban.org/events/thursdayschild/upload/Sarah-Brown-Handout.pdf>
- McGee, M. (2004). Talking with kids about pleasure. *Planned Parenthood Federation of America Educator's Update*, 8(4), 1-6.
- Montfort, S., & Brick, P. (1999). *Unequal partners: Teaching about power and consent in adult-teen relationships*. Morristown, NJ: Planned Parenthood of Greater Northern New Jersey, Inc.
- Morrison, E., Price, M. (1974). *Values in sexuality: A new approach to sex education*. New York: Hart Publishing.
- Raymond, M., Bogdanovich, L., Brahmī, D., Cardinal, L., Fager, G., Frattarelli, L., Hecker, G., Jarpe, E., Viera, A., Kantor, L., & Santelli, J. (2008). State refusal of federal funding for abstinence-only programs. *Sexuality Research and Social Policy*, 5(3), 44-55.
- Rosenbaum, J. (2009). Patient teenagers: A comparison of the sexual behavior of virginity pledgers and matched nonpledgers. *Pediatrics*, 123, 110-120.
- Schick, V., Herbenick, D., Reece, M., Sanders, S., Dodge, B., Middlestadt, S., &

- Fortenberry, J. (2010). Sexual behaviors, condom use, and sexual health of Americans over 50: Implications of sexual health promotion for aging adults. *The Journal of Sexual Medicine*, 7, 315-329.
- Sexuality Information and Education Council of the United States (SIECUS). (1998). *Filling the gaps: Hard to teach topics in sexuality education*. New York: Author.
- Sexuality Information and Education Council of the United States (SIECUS). (2004). *Guidelines for comprehensive sexuality education: Kindergarten through 12th grade* (3rd ed.). New York: Author. Retrieved from [http://www.siecus.org/\\_data/global/images/guidelines.pdf](http://www.siecus.org/_data/global/images/guidelines.pdf)
- Sexuality Information and Education Council of the United States (SIECUS). (2007). On our side: Public support for comprehensive sexuality education. Retrieved from [http://www.siecus.org/\\_data/global/images/public\\_support.pdf](http://www.siecus.org/_data/global/images/public_support.pdf)
- Sexuality Information and Education Council of the United States (SIECUS). (2008). Sex respect review. *Community Action Kit*. Retrieved from [www.communityactionkit.org/index.cfm?fuseaction=page.viewpage&pageid=990](http://www.communityactionkit.org/index.cfm?fuseaction=page.viewpage&pageid=990)
- Sexuality Information and Education Council of the United States (SIECUS). (2009). *In their own words: What abstinence-only-until marriage programs say*. Washington, DC: SIECUS Public Policy Office. Retrieved from [www.siecus.org/index.cfm?fuseaction=Page.ViewPage&PageID=1199](http://www.siecus.org/index.cfm?fuseaction=Page.ViewPage&PageID=1199)
- Sexuality Information and Education Council of the United States (SIECUS). (n. d. a). *Abstinence only until marriage programs*. Retrieved from <http://www.siecus.org/index.cfm?fuseaction=Page.viewPage&pageid=523&parentID=477>
- Sexuality Information and Education Council of the United States (SIECUS). (n.d. b). *Comprehensive sexuality education*. Retrieved from <http://www.siecus.org/index.cfm?fuseaction=page.viewPage&pageid=514&parentID=477>
- Sexuality Information and Education Council of the United States (SIECUS). (n.d. c). *Talk about sex: What is sexuality*. Retrieved from <http://www.seriouslysexuality.com/index.cfm?fuseaction=Page.ViewPage&pageid=1071>
- Simon, W., & Gagnon, J. (1984). Sexual scripts. *Society*, 22, 53-60.
- Stangler-Hall, K., & Hall, D. (2011). Abstinence-only education and teen pregnancy rates: Why we need comprehensive sex education in the U.S. *PLOS ONE*, 6(10), e24658. doi:10.1371/journal.pone.0024658. Retrieved from <http://www.plosone.org/article/info:doi/10.1371/journal.pone.0024658>
- Sternberg, R. (1986). A triangular theory of love. *Psychological Review*, 93, 119-135.
- Taverner, B., & Montford, S. (2005). Making sense of abstinence: Lessons for comprehensive sex education. Morristown, NJ: Planned Parenthood of Greater Northern New Jersey, Inc.
- Taverner, B. (2006). Tips for emerging sexology professionals: Networking and nurturing. *Contemporary Sexuality*, 40(2), 1-8.
- Tieffer, L. (2004). *Sex is not a natural act and other essays* (2nd ed.). Boulder, CO:

- Westview Press.
- Timmerman, G. (2009). Teaching skills and personal characteristics of sex education teachers. *Teaching and Teacher Education, 25*, 500-506.
- Trenholm, C., Devaney, B., Fortson, K., Quay, L., Wheeler, J., & Clark, M. (2007). Impacts of four title V, section 510 abstinence education programs. *Final report*. Princeton, NJ: Mathematica Policy Research Group.
- Waxman, H. (2004). *The content of federally funded abstinence-only education programs*. Washington, DC: U.S. House of Representatives Committee on Government Reform.
- Wilkenfeld, B., & Ballan, M. (2011). Educators' attitudes and beliefs towards the sexuality of individuals with developmental disabilities. *Sexuality and Disability, 29*(4), 351-361.

## 索引

- 数
- 1 分間スカーム 1:406-407
- か
- 禁欲的性教育プログラム 1:379-382
- さ
- ジェンダー
- セクシュアリティと～ 1:400-401
- 思春期
- 思春期の若者の性 1:377-379
- 性教育
- ～のガイドライン／価値観 1:383-384
- ～の認証 2:374-376
- ～を教えるための教育 2:374-376
- 安全な環境を作るための学習戦略 1:404-409
- 価値観の明確化 1:409-414
- 拒否するスキル 1:414-415
- 学校におけるアプローチ 1:379-385
- 禁欲に基づく／禁欲プラスプログラム 1:382
- 禁欲のみプログラム 1:379-381
- 結婚まで禁欲のみプログラム 1:381
- 教育委員会ディベート活動 1:388-389
- 思春期の若者の性 1:377-379
- 授業内容開示文書 1:408
- 性教育 1:375
- セクシュアリティ・モデル 1:390-404
- 定義に関する課題 1:375-377
- 人間の性を教える課題と喜び 2:379-384
- プログラムの有効性 1:385-386
- 包括的プログラム 1:382-385
- よく知られている論争 1:387-389
- 性教育者 2:374-379
- 性的スクリプト理論 1:401-403
- セクシュアリティ、時間をかけた発達 1:399-400
- セクシュアリティ・モデル
- ～の生理学的プロセス 1:399-400
- ～の適用 1:403-404
- 時間をかけた発達 1:390-396
- ジェンダーと～ 1:400-401
- 心理学的プロセス 1:398-399
- 認識プロセス 1:397-398
- 文化的影響 1:401-403
- な
- 人間の性（セクシュアリティ） 1:375, 1:381, 1:388, 1:407, 2:374-381
- 性教育・参照
- 認証／免許 2:374-376
- 認証家族生活教育者（CFLE）プログラム 2:374-376
- は
- 米国性教育者・カウンセラー・セラピスト協会（AASECT） 2:376
- 包括的性教育ガイドライン（SIECUS） 1:382-385
- 包括的性教育プログラム、～の有効性 1:385-386
- 性教育者 2:374-379
- ら
- 理論
- 性的なスクリプト理論 1:401-403
- 性教育 1:375-415, 2:374-392
- 恋愛関係における価値観の違い 1:411-414

注) 1:○○○-○○○, 2:○○○-○○○はその1およびその2の頁である。

FAMILY LIFE EDUCATION :  
WORKING WITH FAMILIES ACROSS THE LIFESPAN  
(THIRD EDITION) edited by Carol A. Darling and Dawn Cassidy  
Copyright © 2014 by Carol A. Darling and Dawn Cassidy  
Third published 2014 by Waveland Press, Inc.

This translation is published by permission of Waveland Press, Inc.,  
Long Grove, Illinois, U. S. A.